

令和3年度 市民提案型まちづくり支援事業採択事業一覧

No	地区	新規 継続	団体名	事業名
1	笠間	新規	笠間地区振興協議会	コミュニティツールを活用した新たなまちづくり
2	笠間	継続 (3年目)	歩恋う会かさま	わがまちを歩恋う あるこ 知ろう健康一ふるさとの歴史
3	宮保	継続 (2年目)	松任海岸清掃協力隊	松任の海岸保全に貢献
4	出城	新規	出城健康スマイルクラブ	「健康で笑顔あふれる元気地区づくり」ー地区住民の健康寿命を延ばそうー
5	御手洗	継続 (2年目)	AI時代のための プログラミング会	ロボットのプログラミング教室 ー御手洗地区ハッカーー
6	林中	継続 (2年目)	林中地区自主防災会	林中防災ボランティアによる 安心なまちづくり事業
7	林中	新規	林中まちづくり委員会	林中清掃ボランティアによる 綺麗なまちづくり事業
8	加賀野	継続 (2年目)	加賀野地区 自主防災委員会	「加賀野地区・災害に負けないまちづくり」
9	美川	継続 (3年目)	美川御酒保存会	祝い唄「御酒」と「帆柱起こし」保存と伝承
10	一ノ宮	継続 (2年目)	一の宮桜の郷友の会	桜の植樹による一の宮地区活性化事業
11	鶴来	新規	つるぎふるさと民話の会	鶴来地区の民話の掘り起こしと伝承
12	吉野谷	継続 (3年目)	白山瀬波の会	カタクリ群生地周辺の環境整備及び周知事業
13	尾口	新規	白山ろく里山 活性化協議会	アサギマダラの里づくり

令和3年度 白山市市民提案型まちづくり支援事業 活動紹介 ①

事業名	笠間地区振興協議会【新規】
団体名	コミュニティツールを活用した新たなまちづくり
活動地区	笠間地区

活動紹介（事業の概要）

「結ネット」を導入して地域内のICTプラットフォームを構築し、スマートフォンやタブレット端末による会議案内や災害時の安否確認訓練、リモートによる会議等を行いました。コロナ禍でスマートフォンの扱いが不慣れな方への十分のサポートができませんでした。Webでの防災や新しいまちづくりに関するアンケートを実施し、住民の意見を把握することができました。

【活動内容】

- ・地区内各種団体の役員に対して「結ネット」を導入（123人/171人）
- ・地区振興協議会の会議案内、リモート会議、リモート総会の実施
- ・防災に関するアンケート、災害時の安否確認訓練など



操作説明会



メニュー画面



災害時の安否確認画面



地区振総会Web議決案内

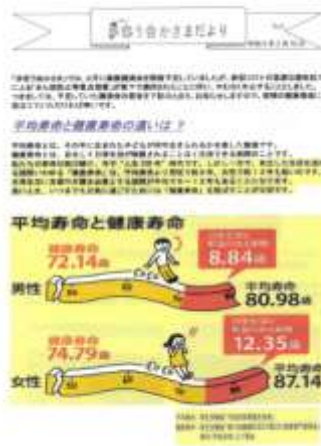
令和3年度 白山市市民提案型まちづくり支援事業 活動紹介 ②

事業名	わがまちを歩恋う 知ろう健康一ふるさとの歴史【継続3年目】
団体名	歩恋う会かさま
活動地区	笠間地区
活動紹介（事業の概要）	

健康で豊かに生涯を生きるため、地域・社会活動の一翼を担い、健康寿命の延伸を図ることを目的に、地域住民にウォーキングの普及を努めました。また、令和2年度作成のウォーキングマップと令和3年度作成のウォーキング実施記録カードを併用することで、ウォーキングの達成感と意欲の向上を図るとともに、地区内の名所や史跡等の歴史を学ぶ機会となり、大きな成果が得られました。

【活動内容】

- ・ウォーキング実施記録カードを作成
- ・「歩恋う会だより」（5月、10月、2月）の発行
- ・笠間地区文化祭にて金城大学による健康寿命延伸啓発の展示と説明会の開催



事業名	松任の海岸保全に貢献【継続2年目】
団体名	松任海岸清掃協力隊
活動地区	宮保地区
活動紹介（事業の概要）	

海岸清掃活動を継続的に実施することで、白山市民の海岸保全への意識の向上を図ることができました。また、ウェブページの開設やコマーシャル動画を市内外の住民に向けて発信して、海岸清掃の新たな仲間づくりに努めました。

【活動内容】

- ・海岸清掃（実施回数：6回、参加人数127名）
- ・海岸清掃ネットワーク・仲間づくり

松任海岸清掃協力隊のウェブページを開設し、活動のお知らせや活動報告、松任海岸清掃協力隊への参加の流れ、海岸清掃の重要性を発信。

- ・海岸清掃の重要性を発信するためのコマーシャル作成（YouTubeで公開）
- ・海岸清掃活動を広めるワークショップの開催



海岸清掃



コマーシャル



ウェブページ

令和3年度 白山市市民提案型まちづくり支援事業 活動紹介 ④

事業名	「健康で笑顔あふれる元気地区づくり」－地区住民の健康寿命を延ばそう－【新規】
団体名	出城健康スマイルクラブ
活動地区	出城地区

活動紹介（事業の概要）

ウォーキングを中心にした健康づくりや体組成計を利用して体調管理をすることで地区の健康意識が高まり、「健康で笑顔あふれる元気な地区づくり」に寄与することができました。中でも歩数コンペでは、参加者が歩数を競い合った結果、多くの方が記録を伸ばすとともに、地区住民の新たな交流が生まれました。

【活動内容】

- ・公民館だよりや回覧チラシ、LINE公式アカウントでの周知
- ・歩き方講習会
- ・減塩食講習会
- ・健康講座
- ・歩数コンペなど



お花見ウォーキングチラシ



定例ウォーキング



元オリンピック競歩選手
の歩き方講座



生活習慣改善講座

事業名	ロボットのプログラミング教室 ー御手洗地区ハックー【継続2年目】
団体名	A I 時代のためのプログラミング会
活動地区	御手洗地区

活動紹介（事業の概要）

地区の小学校が夢を持ってA I 時代に成長するように、ロボットのプログラミング教室を開催しました。地区の高齢者が勤務時代の経験を生かして指導し、小学生と一緒に日常生活の課題を解決するプログラミングに取り組みました。令和3年度は御手洗公民館のほかに徳光町の明證寺でも開催して参加者の拡大に努めるとともに、御手洗地区の1次避難場所のデジタルマップを作成するなど、より実用的な内容に発展しております。

【活動内容】

- ・夏期プログラミング教室 3回実施 参加児童数 計15人
荷物到着お知らせロボット、公民館案内アプリ、信号機ロボットなど
- ・冬期プログラミング教室 2回実施 参加児童数 計10人
おもてなしドア、書類搬送ロボット、衝突回避自動車など
- ・春期プログラミング教室 2回実施 参加児童数 11人
1次避難場所のデジタルマップ、書類搬送ロボ



御手洗公民館での教室



明證寺での教室

みょうしょうじからのお知らせ

プログラミング教室

IN明證寺

日時: 8月4日(水)
午前9時30分
～12時頃まで

場所: 明證寺本堂

対象: 小学3～6年生

定員: 7名

プログラミングの技術・知識を楽しくわかりやすく学べる「プログラミング教室」がお寺でも開かれます。ご近所にお住まいのおじいちゃん・おばあちゃんに教えてもらいます。お気軽にご参加ください。(マスクのご着用をよろしくお願いいたします。)

主催: A I 時代のためのプログラミング会 代表 三嶋昭彦
お申し込み先: 白山市市民提案型まちづくり支援事業 事務局

チラシ

事業名	林中防災ボランティアによる安心なまちづくり事業【継続2年目】
団体名	林中地区自主防災会
活動地区	林中地区

活動紹介（事業の概要）

近年、全国において災害が多発している中、地区内の災害弱者が安心して安全な生活が送れるよう、夜間訓練や安否確認カードの掲示などより実践的な訓練の実施により、住民の防災意識の向上が見られ、訓練の必要性を深めることができました。

【活動内容】

- ・防災訓練（夜間訓練）10月3日 参加者数40人
- ・防災啓発 10月30日
林中文化祭にて「防災展」及び防災会会長による「防災プチ講座」を開催
- ・防災計画検討会 11月8日 県防災活動アドバイザーを講師に招く
- ・防災訓練（避難訓練）11月28日 参加者96人
安否確認カードの掲示を集計、アンケートの実施。
- ・防災広報の発行



防災訓練（避難訓練）



北国新聞（R3. 12. 6）



林中文化祭・防災プチ講座



令和3年度 白山市市民提案型まちづくり支援事業 活動紹介 ⑦

事業名	林中清掃ボランティアによる綺麗なまちづくり事業【新規】
団体名	林中まちづくり委員会
活動地区	林中地区

活動紹介（事業の概要）

地区内の公共施設や各町内の共同施設について、一部粗放化による景観の劣悪化が見られ、今後の維持管理が疑問視されるため、住民の清掃ボランティアの協力による清掃活動を行いました。今後、地区住民に対して一層の環境美化や維持管理の意識の醸成を図ります。

【活動内容】

- ・松南グラウンドの草刈り・清掃 7/11（47人）
- ・松南小学校通学路の除草剤散布・草刈り 7/23（9人）
- ・林中健康ひろばの草刈り、樹木枝処理 10/3（10名）
- ・松南グラウンドの草刈り・清掃 10/3（52人）
- ・秋の町内会共同施設の草刈り・清掃 10/24（200名）
- ・林中公民館内外の清掃 12/27（12名）ほか



松南グラウンド 草刈り・清掃



林中健康ひろばの草刈り・樹木枝処理

令和3年度 白山市市民提案型まちづくり支援事業 活動紹介 ⑧

事業名	「加賀野地区・災害に負けないまちづくり」【継続2年目】
団体名	加賀野地区自主防災委員会
活動地区	加賀野地区

活動紹介（事業の概要）

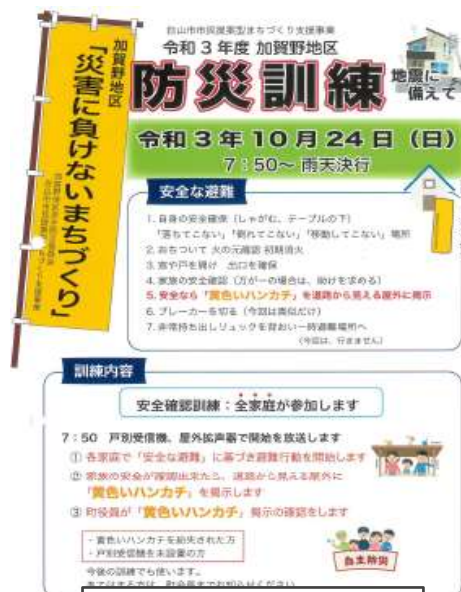
加賀野で自分自身と愛する家族を守るため、今すべきことは何かを問い、防災意識の向上と住民が互いに協力して築き上げる、住んで安心暮らして楽しい災害に負けない強いまちづくりを目指します。避難訓練においては、1週間前から地区内にのぼり旗を設置して機運を盛り上げ、昨年度に引き続き安否確認のための「黄色いハンカチ運動」を実施した結果、掲示率は向上しており、避難訓練への認識が深まっています。

【活動内容】

- ・「加賀野地区・災害に負けないまちづくり」のぼり旗を各町内に配付（5月）
- ・避難訓練の実施（10月24日 参加者 51人）
「黄色いハンカチ」は715世帯中490世帯、68.5%で掲示
- ・防災委員研修会（9月21日 能美市防災センター）
- ・文化祭にて、防災啓発パネルや防災訓練の写真を掲示



黄色いハンカチ運動



防災訓練チラシ



のぼり旗



避難訓練(加賀野体育館)

事業名	祝い唄「御酒」と「帆柱起こし」【継続3年目】
団体名	美川御酒保存会
活動地区	美川地区

活動紹介（事業の概要）

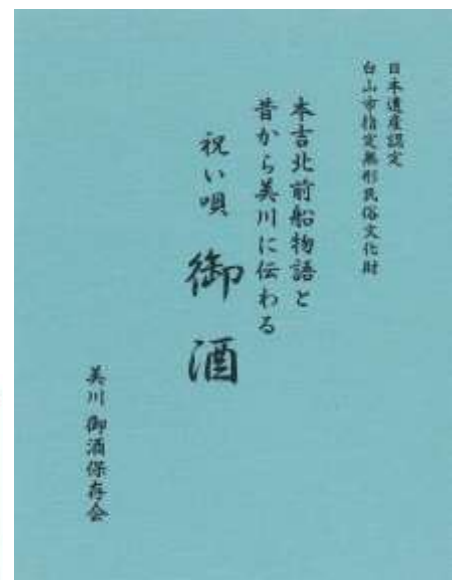
美川地区は古く北前船で栄えた湊町で、「御酒」は北前船の乗組員により伝わっていた古謡です。今年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止から、美川地区内の3つの小学校での「御酒」教室や市民向け講座を中止することになりましたが、日本遺産サミットin小松での披露しました。継承が危ぶまれていた尺八伴奏については、これまでの口伝から尺八譜に作成することができました。また、これまでの取り組みが実を結び、一時は奏者がいなくなりましたが、新たな奏者が誕生するなど、郷土の風習が引き継がれています。

【活動内容】

- ・尺八譜の作成・録画。
- ・小松市うらら館での日本遺産サミットin小松で御酒を披露 11月14日
- ・地区外で初の試みとして、鶴来地区において御酒の勉強会を開催 1月14日



日本遺産サミットin小松での披露



地区外で初の御酒講習会

『一ノ宮の桜を散策しよう』

一ノ宮『さくらめぐり』徒歩ウォーキングマップ

一ノ宮地区の活性化と観光の促進として、多くの方が訪れるよう歩道の整備と桜の植樹に取り組んでいます。

桜のオーナー募集チラシ

事業名	鶴来地区の民話の掘り起こしと伝承【新規】
団体名	つるぎふるさと民話の会
活動地区	鶴来地区

活動紹介（事業の概要）

鶴来地区の民話や歴史を紙芝居やカルタにして、伝承する活動を通して次世代の住民や子どもの育成につなげると取り組みを行いました。紙芝居や上演DVDを鶴来地区内の公共施設に寄贈して地域の情操教育を図り、会員自らのレベルアップを図るため、紙芝居先進地から講師を招聘して講習会を行いました。

【活動内容】

- ・A5版手書きカルタを完成。
- ・紙芝居9話を作成し、鶴来地区2児童館、2図書館、鶴来公民館に寄贈
- ・県内の民話を伝承したり、紙芝居を作成・上演している団体等と講習会を開催
- ・紙芝居先進地から講師を招聘し、会員のレベルアップを図る
- ・紙芝居の上演をDVD録画し、鶴来地区内の小学校や学童保育、児童館などに寄贈



北国新聞掲載 (R3. 5. 14)



A5版手書きカルタ



紙芝居の上演



紙芝居講習会

事業名	カタクリ群生地周辺の環境整備及び周知事業【継続３年目】
団体名	白山瀬波の会
活動地区	吉野谷地区

活動紹介（事業の概要）

高齢化と人口流出が進む瀬波地区において、地域の最大資源である有用な自然を生かした地域活性化事業として、地域への交流人口の拡大と、元気で住みよい魅力ある地域づくりを目指し、日本最大規模とメディアに紹介された瀬波のカタクリ群生地周辺の環境整備に取り組み、今後更なる交流人口の拡大が期待されます。

【活動内容】

- ・見学者周知対策や群生地保護を目的とした案内板や花畑侵入防止看板等の設置
- ・「紅葉のオンソリ山を登ろう」イベントの開催。
(開催日 10/24、参加者数 10人)



登山イベントチラシ



登山イベントの参加者



カタクリ群生地に関する案内板

事業名	アサギマダラの里づくり【新規】
団体名	白山ろく里山活性化協議会
活動地区	尾口地区

活動紹介（事業の概要）

道の駅瀬女に隣接する瀬戸の耕作放棄地を活用し、1,600株のフジバカマを植えて「アサギマダラの空の駅 白山」として賑わいづくりに取り組みました。アサギマダラは多い日で1,000頭、マーキングは11,000頭に達し、広島や宮崎、山口のほか全国からマーキングしたアサギマダラの飛来情報があり、交流につながる団体もありました。また、各種メディアに効果的に発信し、来訪者が増えた結果、道の駅瀬女とタイアップして賑わいづくりに努めました。

【活動内容】

- ・耕作放棄地3面1,166㎡にフジバカマ1,600株を植え付ける。
- ・マーキング調査体験会は32名が参加し、500頭にマーキングしました。
- ・空の駅と道の駅瀬女との間に「空の駅」に関するのぼり旗を立てて盛り上げました。



広島県呉市で再捕獲された
アサギマダラ



道の駅瀬女での写真展



空の駅 看板

白山・瀬戸でマーキング体験
白山ろく里山活性化協議会は23日、白山市瀬戸のフジバカマ群生地、渡り鳥のように長距離を移動するチョウ「アサギマダラ」のマーキング調査体験を開いた。親子連れら約30人が参加し、羽に印を付けながら「旅するチョウ」の生態に理解を深めた。フジバカマ群生地は約1千平方メートルで約1600株が植えられている。同協議会は今年、「アサギマダラ空の駅・白山」と命名し、マーキング調査体験会を企画した。参加者は200匹を捕まえ、羽に目印や場所などを記し、空へ放た。同協議会は5月、地元有識者でつくる「アサギマダラファンクラブ白山」と民間団体「アサギマダラが好むフジバカマ群生地整備」が当初は「アサギマダラの里」と名付け、が「旅するチョウ」にちなんで「空の駅」に改めた。空の駅は一般公開し、10月上旬ごろまで飛び交う様子が見られる。

旅するチョウ
アサギマダラ
生態を調査

アサギマダラの羽にマーキングする参加者
白山ろく里山活性化協議会
白山市瀬戸

北國新聞（R3. 9. 24）